

令和4年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

岡山県

行事名称	吉備津神社特別消防訓練
実施期間・日時	令和5年1月26日(木) 9時30分から10時00分まで
実施場所	岡山市北区吉備津931番地 吉備津神社
主催者	吉備津神社、岡山市消防局

■実施内容

訓練の想定

令和5年1月26日(木) 9時30分頃、吉備津神社本殿及び拝殿の北西方向に位置する林の下草及び立木が燃え、東方向へ延焼拡大してきたため、吉備津神社の本殿、拝殿、勤番所及び廻廊への延焼の恐れが高まったもの。

訓練の内容

吉備津神社側：吉備津神社における火災発生時の初動対応訓練を実施する。

消防：消防指揮本部及び現場指揮所を設置して、吉備津神社における火災発生時の情報収集、部隊指揮及び無線運用訓練を実施するとともに、火災防御、人命検索及び避難誘導訓練を実施する。

参加者及び役割分担

吉備津神社(10名) 通報、初期消火、避難誘導、文化財搬出

消防署(38名 車両10台 ヘリコプター1機) 情報収集、避難誘導、消火活動

消防団(22名 車両4台) 消火活動

岡山市教育委員会(3名) 立会

来賓：文化庁長官ほか、消防庁審議官ほか、岡山県教育次長ほか、岡山市長ほか

特に工夫した点

防災設備が完成した直後であり、放水銃操作、神社職員による文化財搬出の訓練をおこなった。

問題点・課題

神社は山裾部に位置しており、山林火災の延焼などが懸念される。

その他

消防設備の充実がはかられているが文化財建造物の棟数や所有する文化財も多い。また、参拝者も多いため、今後もさらなる防火意識の維持向上が必要である。

訓練風景



訓練風景